

平成25年度関東倶楽部対抗第1ブロック大会 組合わせ及びスタート時間表

(参加者 18倶楽部・126名)

期日：6月24日(月)

場所：長岡カントリー倶楽部 東・西コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(東コース)よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	長谷川 壽彦	赤城	新井 佳泉	グリーンパーク	大和田 康夫	草津		
2	8:09	関口 茂	赤城国際	川端 和憲	小千谷	元木 幸治	藤岡		
3	8:18	深井 修次	長岡	菊池 宗雄	伊香保	北村 和秋	石地シーサイド	飯島 康之	クリスタル
4	8:27	三母 英二	日本海	金井 正善	太田双葉	福原 政文	十日町	滝沢 孝行	松ヶ峯
5	8:36	樋口 隆夫	初穂	押見 正司	下田城	高月 将基	新発田城	梶原 常生	フォレスト
6	8:45	杉山 直樹	赤城	山中 茂	草津	清野 秀雄	小千谷	浅田 忍	長岡
7	8:54	小林 誠二	石地シーサイド	生居 慎司	日本海	福原 晋平	十日町	梅沢 吉	初穂
8	9:03	下妻 登司衛	新発田城	横山 恵造	グリーンパーク	斉藤 順一	赤城国際	池本 昭文	藤岡
9	9:12	榎田 俊雄	伊香保	福島 克彦	クリスタル	大澤 康宏	太田双葉	滝沢 和栄	松ヶ峯
10	9:21	高橋 憲介	下田城	高橋 正秋	フォレスト	内田 克夫	赤城	設楽 守廣	赤城国際
11	9:30	高田 正明	クリスタル	金子 義明	長岡	田中 敏晴	十日町	倉重 正晴	下田城
12	9:39	高橋 登	グリーンパーク	佐藤 正明	小千谷	中島 幸和	伊香保	新村 照平	日本海
13	9:48	中曽根 芳雄	松ヶ峯	上田 参朗	新発田城	滝沢 信夫	草津	佐藤 省吾	藤岡
14	9:57	上杉 昌祺	石地シーサイド	高橋 光雄	太田双葉	小野寺 高夫	初穂	湯浅 良一	フォレスト
15	10:06	中村 正男	初穂	角田 卓也	グリーンパーク	佐藤 利洋	石地シーサイド	山田 克明	下田城
16	10:15	金田 貴哉	フォレスト	永田 礼義	日本海	目崎 仁	小千谷	大倉 一浩	太田双葉

10番(西コース)よりスタート

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
17	8:00	飯塚 均	赤城	田村 敏明	小千谷	佐藤 信行	石地シーサイド	鈴木 史敏	十日町
18	8:09	川崎 治	新発田城	越原 秀一	グリーンパーク	柿沼 修	藤岡	福富 祥倫	クリスタル
19	8:18	宮沢 重夫	松ヶ峯	松本 重光	フォレスト	滝沢 信也	草津	星野 節二	長岡
20	8:27	渡辺 泰一郎	日本海	梅澤 吉朗	初穂	武井 茂幸	赤城国際	清水 聖二	伊香保
21	8:36	相澤 久之	太田双葉	田崎 尚志	下田城	白石 哲也	赤城	小林 康春	藤岡
22	8:45	吉田 聡	下田城	目黒 学	日本海	水川 純一	グリーンパーク	五十嵐 健太	長岡
23	8:54	長谷川 雅広	太田双葉	笠井 明	新発田城	榎並 雪彦	草津	野崎 寿之	伊香保
24	9:03	内山 洋一	十日町	吉岡 和晃	フォレスト	関 徹也	赤城国際	栃堀 治	石地シーサイド
25	9:12	佐藤 雅基	松ヶ峯	野上 文範	小千谷	石井 一功	クリスタル	木村 浩貴	初穂
26	9:21	畑 忠友	長岡	清田 貴夫	赤城	吉楽 尚生	十日町	今村 幹隆	グリーンパーク
27	9:30	高橋 亨	伊香保	島田 修	松ヶ峯	桜井 伸一	草津	長谷川 剛広	石地シーサイド
28	9:39	小曾根 和雄	赤城国際	井川 智一郎	初穂	大隅 正史	クリスタル	古城 勝彦	下田城
29	9:48	佐藤 秀明	小千谷	小島 達也	日本海	高橋 直樹	新発田城	土田 恭章	藤岡
30	9:57	平山 克己	フォレスト	田村 伸光	太田双葉	加藤 直良	赤城	岩田 孝光	伊香保
31	10:06	小藤 昭次	草津	佐口 昭雄	クリスタル	木島 拓人	新発田城	蟻川 幸男	赤城国際
32	10:15	飯塚 裕一	藤岡	浅田 一幸	十日町	渡邊 克巳	長岡	甲崎 仁	松ヶ峯

競技委員長 豊泉幸夫

平成 25 年度 関東倶楽部対抗第 1 ブロック大会

開催日 : 6 月 24 日(月)

開催コース : 長岡カントリー倶楽部 東・西コース

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレイヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は、2 打とする。

競 技 の 条 件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格(ゴルフ規則 175 ページ参照)

『公認球リストの条件・規則付 I (c)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I (c)1a』(ゴルフ規則 174 ページ参照)

4. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレイヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

5. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホールの間での練習禁止(規則 7-2 注 2)

『規則付 I(c)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)

7. プレーの中断と再開

- (1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。
- (2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組のプレイヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレイヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレイヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレイヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレイヤーは競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則 6-8b 注)
- (3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 競技委員会の指示により、キャディーのトランシーバーで通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 競技委員会の指示により、キャディーのトランシーバーで通報する。

プレーの再開 : 競技委員会の指示により、キャディーのトランシーバーで通報する。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレイヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『規則付 I(c)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含むスルーザグリーン芝草を短く刈ってある区域(規則 25-2 参照)にある距離計測のための黄色いペイント。ただし、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントの上にあるか、触れている場合、またはそのペイントが意図するスイング区域の障害となる場合のみ、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。
3. ウォーターハザード、ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - a. 排水溝
 - b. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - c. 黄黒の縞杭(本競技には適用しない)
5. 電磁誘導カート用の 2 本のレール
2 本のレールの全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、プレーヤーは規則 24-2b(i) の救済を受けなければならない。
6. コースと不可分の部分
 - a. 樹木に巻きつけたり、密着させてあるもの
 - b. ハザード内にある人工の壁、パイリング(杭)
 - c. 13 番ホールグリーン右側の石垣
7. 防球ネット
13 番ホール右側の防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i) により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
8. 指定ドロップ区域
15 番ホール右側のコース売店は修理地とし、球がその修理地にある場合やスタンスや意図するスイングの妨げになる場合、プレーヤーは、罰なしに、指定ドロップ区域にその球をドロップすることができる。

注意事項

1. 競技の条件 4 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 チーム 7 箱を限度とする。

競技委員長 豊泉幸夫

距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	347	521	368	171	425	392	516	153	361	3254
BクラスYards	347	550	368	193	442	413	550	153	381	3397
Par	4	5	4	3	4	4	5	3	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
367	358	169	526	195	392	513	433	401	3354	6608
367	379	190	556	209	392	539	453	425	3510	6907
4	4	3	5	3	4	5	4	4	36	72